



2025-26 年度 国際ロータリー第 2820 地区 地区研修・協議会（DTA）資料

国際奉仕委員会

2025-26 年度「この指とまれ」事業の募集について（お知らせ）

この「この指とまれ」事業とは、国際ロータリー第 2820 地区独自に実施している世界社会奉仕（WCS）プログラムです。

趣旨としては、「一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき、でも、ロータリー財団のグローバルグラントを使う程の事業ではないとき」事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というプログラムです。

今回は、2025 年 7 月 19 日（土）に行われる「奉仕プロジェクト研究会」にて「提唱クラブのプレゼンテーション」を行い、地区内各クラブへ賛助クラブとしての協力を呼びかける機会としたいと考えております。

これまでの継続事業も勿論のこと、新たな事業を企画する新たなクラブのご応募を積極的にお待ちしております。

【参考】

2022-23 年度 4 事業（日立・下館共同、しもだて紫水、結城、地区国際奉仕）

2023-24 年度 7 事業（日立・下館共同、吉河中央、吉河東、しもだて紫水、結城、つくばサンライズ、地区国際奉仕）

2024-25 年度 3 事業（日立・下館共同、しもだて紫水、地区国際奉仕）

提唱クラブの魅力あるプロジェクトに多数の賛助クラブが集まり、内容の濃いグローバル事業が実施される事を期待しております。是非、多くのクラブからの積極的なご参加を国際奉仕委員一同お待ちしております。皆様の「奉仕と友情」の架け橋になれば幸いです。

「提唱クラブプレゼンテーション」用紙を以下に添付いたしますので、各クラブの理事会等でお決め頂いた結果を、別紙「賛助クラブ記入用紙」にご記入頂き、下記宛先まで返信をお願い致します。

締切日：2025 年 6 月 30 日（月）締切

返信先①：国際奉仕委員会 総括委員長 村上義孝（つくば学園 RC）

Mail: educe1974@yahoo.co.jp

返信先②：2025-26 瀬戸ガバナー事務所 国際奉仕委員会宛て

Mail: 25-26@rid2820.jp

「提唱クラブプレゼンテーション」

「提唱クラブ用 記入用紙」

事業名		
提唱クラブ詳細	クラブ名称	
	会長・幹事名	
	担当者名	
	担当者携帯☎	
	担当者 mail	
対象地域		
相手団体		
事業内容		
R I 重点分野 (一つ以上に○)	・ 平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康 ・ 基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境	
概略予算		
その他付記事項		

※締切提出日：2025年6月30日（月）

※返信方法：送信された「Word」データにてお願い致します

「提唱クラブ用 記入用紙」【記入例】

事業名	〇〇××プロジェクト	
提唱クラブ詳細	クラブ名称	〇〇ロータリークラブ
	会長・幹事名	会長：茨城太郎 幹事：筑波花子
	担当者名	霞ヶ浦次郎（国際奉仕委員長）
	担当者携帯☎	090-1234-5678
	担当者mail	m-mmm@mmm.mmm.ne.jp
対象地域	〇〇共和国××州△△市	
相手団体	××州△△市立〇×中学校、〇△小学校 ※相手団体に地元ロータリークラブ等が含まれる場合は記入してください【必須ではありません】	
事業内容	△△市の〇×中学校・〇△小学校の生徒・児童たち向けに「基本的教育と識字率向上※」のために鉛筆、ノート等の文具・学用品を提供します。また、〇〇共和国の現地の学校を訪問し、子ども達に手渡しをする事業です。 ※ロータリー財団の補助金プロジェクト「重点分野」に準ずる内容であることが必要となります	
R I 重点分野 (一つ以上に○)	・平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康 ○基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境	
概略予算	000,000 円	
その他付記事項	※相手団体との関係や提案に至った経緯など補足説明があればご記入をお願いします。 また、継続事業の場合は、(もし分かれば) 前回の様子について等も追記をお願いします。 (例) ・昨年度は××であり、〇〇の子ども達は非常に喜んでいました。	

【ロータリー財団の補助金プロジェクト「重点分野」】

- ・平和構築と紛争予防
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・地域社会の経済発展
- ・環境

2022-23「この指とまれ」賛助クラブ数、実績金額一覧

クラブ名	結城 RC	日立・下館 RC 合同	しもだて紫水 RC	地区国際奉仕 委員会
プロジェクト名	思い出のランドセルを世界で役立てよう (タイ)	ネパールの貧しい子供たちへの就学支援 (ネパール)	ペンシルプロジェクト (フィリピン)	ウクライナへの生活物資支援 (ウクライナ)
賛助クラブ数	22	30	23	30
実績金額	250,000	545,000	265,000	570,845

2023-24「この指とまれ」賛助クラブ数、実績金額一覧

提唱クラブ／地区委員会							
	1.日立＆下館	2.古河中央	3.古河東	4.しもだて紫水	5.結城	6.つくばサンライズ	7.地区国際奉仕
クラブ数	30	14	19	19	20	17	29
実績金額	560,000	180,000	390,000	190,000	200,000	200,000	441,000

2024-25「この指とまれ」賛助クラブ数、実績金額一覧

クラブ名	日立・下館	しもだて紫水	国際奉仕委員会
クラブ数	29	25	26
実績金額	583,000	353,000	373,000

2023-2024年度「この指とまれ」提唱クラブ事業一覧

提唱クラブ		事業名	実施国	事業内容
1	日立 下館 (共同提唱)	ネパールの貧しい子供 たちへの就学支援	ネパール	ネパールの貧困児童へ学用品(文房具類、教材、スポーツ用品)の支援を行う。 R1方針に則り、量の確保と現地経済支援のため支援品は現地購入で行う。支援 品の配布には過去十数年来、ともに協働奉仕で手を携えてきたネパール・カス タマンダップ配とともに実施していく。
2	古河中央	タイ・「バンコク」学校教 育図書支援プロジェクト	タイ	バンコムロータリークラブの所在地の地域にあるバンカピ高校のロータア クトを通し、その学校へ図書や文具など、学習の手伝いになるものを寄贈する。 また、この交流を通して将来的に日本との一年交換留学生を発売に行うことを 目的とする。
3	古河東	モンゴルの子供たちへ 学用品・スポーツ用品支 援	モンゴル	コロナ禍以前には、フレロータリークラブのジャンチバスト会長の協力の もと、モンゴルの国立病院へ医療機器の寄贈や・学用品・スポーツ用品の寄贈 を行ってきた。今年度からモンゴルへの支援事業を再開する。
4	しもだて紫水	ベンシルプロジェクト	フィリピン	日本の子供達が使用しなくなった鉛筆、ノート、文具、また新しく購入した鉛 筆等をフィリピンの小学校に出向き、フィリピンの小学生たちに直接手渡しを するプレゼント事業です。この事業は今年で12年目を迎え、毎年2回フィリ ピンに出向き実施している事業です。
5	結城	タイ王国ランドセル贈 呈事業	タイ	小学校6年間使用したランドセルを寄贈していただき友好クラブバンコクバ ツムワンRCの協力を得て、市内貧困地区小学校へランドセルを贈呈する。今 回は守谷RCとの共同事業とする。現地へ赴き手渡し式を行う。
6	つくばサンライズ	フィリピン口腔衛生指 導	フィリピン	本年度は11月23日から26日の日程で行います。 今までの歯科医療奉仕はフィリピン政府により禁止されているためし の同出来ません。よって、VITでおこなった予防教育の実践を行う事にしまし

た。

禁止が解かれるまでの間マニラ市内の小学校に歯ブラシ、文房具の寄贈をし、ブラッシング指導を行います。

2022 年 2 月 24 日に始まるロシア軍によるウクライナ侵攻は、ウクライナの人々から教育や医療など普通の暮らしを奪い、現在も痛ましく悲惨な状況となっている。故郷を追われ国外へ避難する人々も増え続ける中、国内で生活する人々も日々の水や食料に困るほど今も苦難に直面している。国際ロータリー第 2820 地区ではこれまでも、人道支援活動を国際ロータリー第 232 地区と連携し行ってきた。そこでこの繋がりを活かし RC Rakhiv のボランティアセンターを通し、ウクライナ国内はもとより周辺国へ避難している人々を含め苦難に直面している人々により多くの生活物資を届けることを目的とする。

ウクライナへの生活
物資支援
地区国際奉仕委員
会

2024-2025 年度 「この指とまれ」 提唱クラブ事業一覧

提唱クラブ		事業名	実施国	事業内容
1	日立 下館 (共同提唱)	ネパールの貧しい子供 たちへの就学支援	ネパール	ネパールの貧困児童への学用品などの支援を行う。量の確保と現地経済支援のため支援品は現地購入で行う。支援品の配布には、ともに協働奉仕で手を携えてきたネパール・カスタマングッヅ RC とともに実施していく。
2	しもだて紫水	フィリピンの貧しい子 ども達への文具品や生 活必需品の支援	フィリピン	フィリピンの貧困児童への学用品などの支援を行う。支援品の配布には、共同奉仕で手を携えてきたマニラ・レメディオス サークル RC とともに実施していく。
3	地区国際奉仕委員 会	ウクライナへの生活 物資支援	ウクライナ	2022 年 2 月 24 日に始まるロシア軍によるウクライナ侵攻は、ウクライナの人々から教育や医療など普通の暮らしを奪い、現在も痛ましく悲惨な状況となっている。故郷を追われ国外へ避難する人々も増え続ける中、国内で生活する人々も日々の水や食料に困るほど今も苦難に直面している。国際ロータリー第 2820 地区ではこれまでも、人道支援活動を国際ロータリー第 2232 地区と連携し行ってきた。そこでこの繋がりを活かし RC Rakhiv のボランティアセンターを通し、ウクライナ国内はもとより周辺国へ避難している人々を含め苦難に直面している人々により多くの生活物資を届けることを目的とする。